

2学期が始まりました。今年の夏は、地球温暖化による気温の底上げに加え、ラニーニャや太平洋高気圧の影響が重なり、記録的な猛暑となりました。そんな暑さにも負けずに、充実した夏休みを送られたことと思います。この夏にチャレンジしたことや、2学期に挑戦したいことを、ぜひことばの教室で聞かせてください。

7月の就学支援委員会で、5名の入級が認められました。芝川小ことばの教室は、小学生36名と教育相談対応の小学生3名、教育相談対応の中学生7名で2学期スタートです。よろしくお願いします。



担任交流会について



★担任の先生方へ★

新しいクラス、新しい通級の担当に慣れたところで「担任交流会」を始めさせていただきます。対象は、保護者から希望のあった吃音と難聴の児童の担任の先生方になります。保護者の方からご希望をいただきましたら、ことばの教室担当より担任の先生方へご連絡させていただきます。

★保護者の皆様へ★

担任の先生に、ことばの指導場면을参観していただいたり、情報共有したりする機会を希望される保護者の方は、ことばの教室担当までお声かけください。実施に当たり、放課後に通級されている皆さんには、時間割の変更をお願いすることがありますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

補聴器研修会を行ないました

PHONAK ソノヴァ・ジャパン株式会社から、講師の方を3名お迎えして、補聴器研修会をおこないました。

耳の形状から、補聴器や補聴援助システム roger[ロジャー]についてまで、たくさんのことを学ばせていただきました。後半には、補聴器を実際に着け、補聴器を通した音を聞く体験をしました。大切なのは、静かな環境と、適度な声の大きさが重要なのだそうです。



補聴器を着けるだけで、健聴者と同じ聞こえになると思いがちだが、実はそうではなく、補聴器を着けても健聴のようにには聞こえない。

子供と大人の難聴の違いは、言葉のデータベースがあるかないか。これから言葉のデータベースを作らなければならない子供は、耳に入れたい言葉や音の量が違う。

難聴の人は、1日の90%を雑音下にさらされている。聞くことに集中しなければならない難聴児童は、健聴児童よりも疲労が大きい。

日	曜	行事予定	お知らせ
9/26	金		
27	土		
28	日		
29	月	芝川小定時退勤ウィーク	
30	火		
10/1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土	中学校体育祭	
12	日		
13	月	スポーツの日	
14	火	担当者研修会 14:00～ 西小	午後の指導はありません
15	水		
16	木	通級指導教室新担当教員研修会	小林の午後の指導はありません
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	吃音グループ 15:30～芝川小プレイルーム	6校時の指導はありません
21	火		
22	水	芝川小指導課訪問	午後の指導はありません。
23	木		
24	金	言語指導法研修会	午後の指導はありません
25	土		
26	日		
27	月	難聴グループ学習 15:30～ 芝川小プレイルーム 芝川小 就学時健康診断	3校時以降の指導はありません。
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

※ 発行日現在の予定ですので、状況に応じて変更になることもあります。

大変は大きく変わるチャンス！

日々生活するなかで、「大変だなあ」と感じる時があると思います。「辛いなあ」「もう辞めたい」そんなことを思うこともあると思います。

みなさんは、アンネ・フランクさんの名言「大変な時は、大きく変わるチャンス」という言葉があるのをご存じですか？ 大変な状況は、大きく変わるためのきっかけになることがあり、困難な状況に直面した時、人はそれを乗り越えようとすることで、これまでとは異なる視点や価値観を持つようになり、それが成長や変化につながるのだそうです。

ことばの教室では、毎日発音して欲しい言葉の宿題を出します。「なかなか上手く発音できない…。」「上手く舌が脱力できない…」など、もどかしくて、もうやりたくないと思うこともあるかもしれません。そんな時は、この言葉を思い出して、『大きく変われるときなんだ!』と気持ちを前向きに持てるといいなと思います。